



# 柏陽中だより

令和7年度  
4月号

令和7年4月8日（火）  
さいたま市立柏陽中学校  
岩槻区大字真福寺454  
電話 048(798)6655

## 《学校教育目標》温かい学校 喜びあふれる学校（・自ら学ぶ生徒 ・心豊かな生徒 ・粘り強い生徒） 令和7年度のスタートにあたって

校長 水村 亨

新入生並びに保護者の皆様、柏陽中学校へのご入学、誠におめでとうございます。そして、新2，3年生の皆さん、進級おめでとうございます。私は、この4月より亀井隆司前校長の後任として着任しました校長の水村亨（みずむらとおる）と申します。本校の良き伝統と歴史を引き継ぎながら、教職員と保護者・地域の皆様と共に、明るく温かな学校づくりに全力で努めて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日、第44回入学式、そして第1学期始業式を終え、いよいよ新しい年度がスタートしました。生徒の皆さんは、新しいクラスで勉強を頑張ろう、部活動に精一杯打ち込んでみよう、学校行事に積極的に参加しようなど、決意を新たにしていることと思います。この熱い思いをこれからの学校生活にぜひ生かしていきましょう。

保護者・地域の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げますとともに、日頃より本校教育の充実・進展のためにご支援、ご協力を賜りますことに厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も本校は、学校教育目標を「温かい学校 喜びあふれる学校」とし、「目指す子ども像」としては、「主体的に活動し、知性と創造性を高める生徒」「互いに認め合い、思いやりのこころをもった生徒」「安全を心がけ、進んで心身を鍛える生徒」「話に耳を傾け、思いを丁寧に伝える生徒」その育成に取り組んで参ります。また「目指す学校像」としては、「潤いのある学校」「活気のある学校」「感動のある学校」「安心安全な学校」を目指して参ります。

子どもたちの教育は、学校という場所でのみ、成し得るものではありません。学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの教育にあたるのが不可欠です。そのためには3つの『和』が大切だと考えています。1つ目は、「生徒・保護者と教職員との『和』」です。よく、学校と家庭は車の両輪にも例えられますが、生徒と保護者そして教職員がベクトルを合わせて、同じ方向に向かって手を携えていくことはとても大切だと考えています。お互いの理解と協力があつてこそ、望ましい教育活動が進められるのです。2つ目は「生徒相互、保護者相互、教職員相互の『和』」です。生徒たちが学校生活の中で信頼し合える「友」を見付け、助け合い、切磋琢磨し合うことは、今最も求められる教育環境だと思います。同様に保護者が相互に情報を共有し悩みを分かち合い協力し合っていくこと、教職員がチームワークをもって一致団結して教育活動にあたるのが、学校の充実・発展につながっていくものと考えています。最後に3つ目は、「学校と地域社会との『和』」です。学校の教育活動は様々な地域の皆様のご理解とご支援を受けてはじめて成立していきます。また、生徒たちも地域の多くの皆様と触れ合い、活動していくことが大きな学びとなり人間的な成長が図られていくものと思います。そして、これらの3つの『和』が、大きな『輪』となっていくことで、学校は充実した教育活動を展開することができ、生徒の望ましい成長が図られるのだと思います。

本校の教育活動の全ては、伝統と歴史ある柏陽中学校をこれまで応援してくださった多くの方々、そして保護者や地域の皆様のご理解とご協力によって支えられています。「全ては子どもたちの未来のために」を合言葉に何卒よろしくお願い申し上げます。



～本校体育館東側に咲く桜～

